ISHINODA, T.–On some abnormal spinnerets of *Atypus karschi*

# チグモの奇型糸疣 2～3 に就いて

石 野 田 辰 夫

筆者は最近採集した *Atypus Karschi* DÖNITZ 33個体に就いて糸疣節数の調査を行なつたが其の結果4つの奇型を見出したので紹介する。

本稿を草するにあたり御懇篤な御指導を戴いた萱嶋泉先生に深く感謝の意を表すると共に採集にあたつて熱心な協力をされた宮崎県立本庄高校生杉田長士，原口三千年，日高京子，安藤淑子，郡幸の諸君に対し謝意を表する。

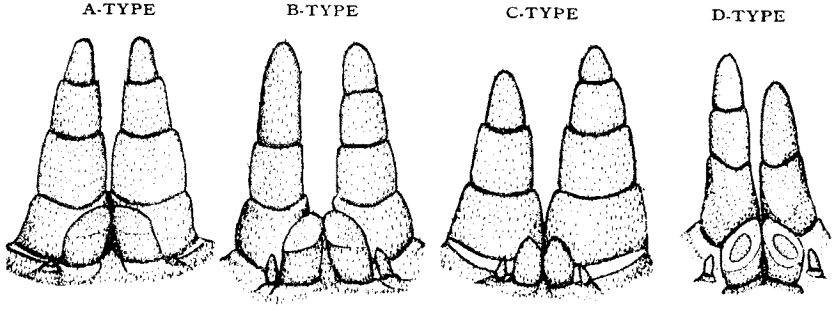
## 調 査 結 果

*Atyus karschi* DÖNITZ の糸疣の数及び節数は幼生，亜成体，成体に依る変化はなく種の特徴として一定したものである。本調査に依り奇型として見出したものは何れも成体（♀）である。

今各奇型の特異点を挙げると次の様である。

1) A-type　中糸疣が殆んど消失している。
2) B-type　左の後糸疣オ3節とオ4節が融合し確然たる分化を示していない。
3) C-type　左の後糸疣が3節よりなり更に前糸疣は砲弾型をなし稍々未分化である。
4) D-type　後糸疣の左は3節よりなり右は2節から成立つている，前糸疣は著しく発達し先端中央部は稍々凹みを帯びる。

尚，各奇型糸疣の外部形態を示すと次図の様である。




## 參 考 文 献

1. 大志茂善平　蜘蛛の奇形數例　Atypus 4.
2. Montgomery（奥村忠多）蜘蛛の紡績突起の起源　動物学雑誌24巻
3. 奥村忠多　蜘蛛の糸，紡績器及其の腺について　動物学雑誌24巻